(様式2)　令和８年度　学校評価の４点セット整理票　**１学期版**

日田市立　桂林小　学校　　令和8年4月1日

| 【学校の教育目標】 | こころゆたかに　かしこく　たくましく |
|---|---|
| 【育成を目指す資質・能力】 | 協力して課題を解決する力 |

**検証・改善フローシート**　月ごとのや学期途中での検証・改善に繰り返し使用できます。

確認・検証・改善【　　回目】　　月　　日(　)実施

（評価　4:100%以上　3:80%以上100%未満　2:60%以上80%未満　1:60%未満　※%は達成率）

| 重点目標 | 達成指標 | | 重点的取組 | 取組指標 | 資質・能力との関連 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 学びに向かう力・人間性等の涵養 | 担当 | 取組指標に対する 取組状況の確認 取組状況(エビデンス) | 実施率 | 達成指標に対する 達成状況の確認 達成状況(エビデンス) | 達成率 | 達成指標・取組指標の妥当性を 検証 | 評価 指標別 | 評価 全体 | 改善方法 | 学校関係者評価（　月　日） 考察 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習・生活の基礎・基本を身につけた児童の育成 | ○ 児童アンケート「マス計算ではやく正確にできるようになった」の肯定的回答を７５％以上にする。 | 学校 | ○ 計算力の向上 | ○ 学級担任は、週１回のマス計算で、目標の時間と正答数の向上を意識させて指導を行う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 学校 | ○ 桂林マインド1の指導の推進 | ○ 学級担任は、２か月に１回、「桂林生活万善簿」においてあいさつに関する目標を定め、指導やふりかえりを行う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ 児童アンケート「学年に応じたあいさつのめあてが守れました」と職員アンケート「児童は学年に応じたあいさつのめあてが守れている」の肯定的回答平均値を８０％以上にする。 | 家庭 | ○ 規則正しい生活習慣の確立 | ○ 保護者は、毎朝、子どもに「おはよう」の挨拶のあとに＋αのことばをかける。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地域 | ○ 地域でのあいさつの推進 | ○ スクールガードは、対面式後の児童との対話会において、児童の登下校でのあいさつの状況を評価する。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 自分や友だちを大切にして、課題を話し合いで解決する児童の育成 | ○ 児童アンケート「自分の考えを説明できた」の肯定的回答を７５％以上にする。 | 学校 | ○ 伝え合う授業づくり | ○ 担任は、算数で自分の考えをノートに書く時間を確保して、説明させる授業を行う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 学校 | ○ 桂林小子ども人権宣言の推進 | ○ 学級担任は、学級活動で月に１回以上、学級の様子や課題について児童に考えさせる時間を設ける。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ 児童アンケート「『自分がされていやなことは人にしない』が守れました」の肯定的回答を８０％以上にする。 | 家庭 | ○ 家庭とともに子どもをはぐくむ取組の推進 | ○ 保護者は学期に１回「親子にこにこプロジェクト」に取り組み、子どもを褒める。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地域 | ○ 地域とともに子どもをはぐくむ取組の推進 | ○ 民生委員は、月1回昼休みに子育てサロンを行う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【働き方改革の推進】 | ○ ノー残業デーで１８時までに退庁する教職員を９０％以上にする。<br>○ 時間外勤務時間を月平均４０時間以内にする。 | 学校等 | ○ ノー残業デーの徹底 | ○ 職員は、ノー残業デーで１８時までに退庁する。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 学校等 | ○ 効果的・効率的な働き方のための業務の見直し | ○ ＭＳ委員は、学期に２回勤務状況の把握と改善の協議を行う。 | | | | | | | | | | | | | | |